

施策評価調書(21年度実績)

政策体系	施策名	すべての主体が参加する地域社会の形成	施策コード	I-1-(5)
	政策名	恵まれた環境の未来への継承 ～ごみゼロおおいた作戦の推進	主管部局名	生活環境部
			担当課室名	地球環境対策課
施策概要	本県の恵み豊かな自然を県民が将来においても享受できるように、一人ひとりが環境問題を自らの問題として意識し、行動できるよう、県民総参加で「ごみゼロおおいた作戦」を展開し、県民、事業所、行政の連携による環境保全活動を促進する。あわせて、環境に関する知識の取得と理解にとどまらず、自ら進んで環境への負荷の低減や環境保全活動に取り組むことができる人材を育むため、学校、地域社会や職場などで環境教育・学習を推進する。			

【評価指標】

主な取組		指標		基準値		21年度			22年度	27年度
				年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値
①	自発的な環境保全活動の促進	i	県民一斉ごみゼロ大行動への参加延人数 (人)	16	117,419	280,000	239,239	85.4%	200,000	400,000
		ii	夏の夜の大作戦(キャンドルナイト)への参加施設数	16	475	2,000	2,578	128.9%	1,500	2,000
		iii	マイバッグ持参率	—	—	80	85	106.3%	80	—
②	環境教育・学習の推進	iv	環境教育アドバイザー派遣団体数	16	36	68	83	122.1%	70	90
						平均達成率(%)		110.7%		

【業績評価】

No.	業 績 評 価			平均 評価
i	達成 不十分	国体時に開催していた関連イベントが終了したため参加者が減少した。しかしながら、事業所やボランティア団体数は増加しており、県民総参加の活動として着実に広がりを見せている。		
ii	達成	地域独自の関連イベントが増加するとともに、着実に参加施設が増加しており、省エネ・省資源に対する意識の高揚につながっている。		
iii	達成	レジ袋無料配布中止の取組開始から高い水準を保っており、ごみ減量化やCO2削減に対する県民意識の啓発につながっている。		
iv	達成	学校や社会福祉施設など各種団体等へ環境教育アドバイザー制度を周知したことにより、環境教育アドバイザー派遣実績が増加し、県民への環境保全意識の高揚が図られた。		達成